



明けましておめでとうございます



はなさかさかす

社会福祉法人報徳会
広報紙 (季刊)
はなさかさかす
令和3年新春号

新春コラム

「疎密」と「未来への後退り」

社会福祉法人報徳会理事 岩壁 清吉

「**コ**ころ塞ぎても起ち上がる人がいる、
 「**ロ**うろうと過ごすことに打ち克ちて。
 「**ナ**にくそとへ未来への後退り、宜しく、
 「**禍**を越えた現し世を今更に希う日々。
 「**さ**れど我らが日々」あれと願いつつ。

新しい年に願いを込めた右の拙文。重ねて「3密」と「ソーシャルディスタンス」を共通の手立てに生きる私たちは時に、時代を顧み、自らを省みるというへ未来への後退りも大切なことだとの思いに駆られます。

このような思いを解剖学者養老孟司は「疎密」という対義的な熟語の意味を通して、私たちに語りかけます。「密」は、狭い範囲に人が集まって空間的な距離が近くなることです。「疎」はその反対。人がパラパラとしかいないので、距離も開いてしまいます。疎は訓読みで「疎んずる」と読みますね。これは実際の距離ではなく気持ちの上の距離です。こうした心の中の距離感、定規などでは測りようはなく難しいところでは、「さかさま人間学」と説き「3密」(密集・密接・密閉)を避けることや「社会的距離」(ソーシャルディスタンス)の施策を捉え、次のような「距離」に思いを巡らせます。

当時小学二年の養老少年は、相模原に住む母の実家で「疎開」を体験。祖母が作った麦のお粥のおいしさを懐かしみます。戦禍の中、空襲と食糧難を避けるための施策が、多くの人の心へ未来への後退りとして甦ります。コロナ禍の中、私たちに「疎開」の場はあるのかを問いかけながら対策の実践には、「緻密・精密・厳密」の「3密」と「親密」な心の距離感で行動したいと思うのです。



2021年 カレンダー



2021年カレンダーをホームページからダウンロードできます。是非ご利用ください！

<http://www.houtokukai.sakura.ne.jp/>



はなさか神宮初詣

例年はダイサービスのフロアでご家族様や入所の皆さまと一緒に過ごして頂く『はなさか神宮初詣』ですが、今年は新型コロナウイルス対策で3階のエレベーターホールに設置してご利用者様だけでお参りをしました。



お習字や貼り絵、万華鏡、切り絵などなど、ユニークな作品ばかりの力作揃いです。ホームページ <http://www.houtokukai.sakura.ne.jp/> の『はなさか文化祭』を是非ご覧ください。今後ものはなさかの生活をホームページでご紹介して参ります。
 ※「はなさか文化祭」はご利用者様とご家族様のみへの公開となっておりますご了承ください。

はなさか文化祭

ご家族との面会や外出レクリエーションなどが制限された毎日をご過ごされているご利用者様に、生活の変化を楽しんで頂くたく「はなさか文化祭」を企画しました。ユニット毎にテーマを決めて作品を手作りし、ホームページ上で「作品展」を開催します。同時に『しあわせなら手を叩こう』を課題曲に、合唱を動画撮影して「合唱の部」も開催しました。



**クリスマスケーキを
みんなで作りました(♡)**

今年のクリスマスは、スポンジケーキにクリームを塗って、ご利用者様が自分のユニットのデコレーションケーキを作りました。自分たちで作ったケーキは格別！



デイサービス 磯部のざる菊

今年ものはなさかの前で「磯部ざる菊まつり」が開催され、例年通りデイサービスでも見学に行きました。



みんなで協力して「お菓子の家」作り。ジンジャーッキーで飾りを作るのは欧米のクリスマスの定番だそうです。



**さくら保育園
リモートXmas会**

米軍座間キャンプの幼稚園との交流で、今年もクリスマス会を行いました。リモートアプリを使って、キャンプの中とさくら保育園をつないで、一緒に絵本を読んだり、クッキーでお菓子の家を作ったりして楽しみました。

1階エントランスにサーモカメラを導入しました。画面の枠に顔を合わせるだけで体温測定ができます。



新型コロナウイルス対策

今年も秋の収穫『芋掘り』を行いました。紅あずまと安納芋を収穫しました。中にはラグビーボール程の大きな芋もあり、甘くて美味しい良い芋でした。採れたお芋は厨房で調理して皆様のお食事に提供されます。



はなさか農園 2020